

1 調査名称：埼玉県総合都市交通体系調査

2 調査主体：埼玉県

3 調査圏域：東京都市圏

4 調査期間：平成23年度

5 調査概要：

平成23年度から、本格的な人口減少・超高齢社会などの社会情勢の変化に対応した都市計画施設への転換を目的として、都市計画施設全般を対象として、各施設管理者と連携を図りながら、規模の適正さを検証し、必要な見直しを行う。

検証・見直しは、都市計画道路や駅前広場を先導的に行っていく。

都市計画道路については、都市計画道路及び県道等の配置やネットワークの状況から生じる課題点を抽出し整理するために、状況図及び調書を作成する。

駅前広場については、都市計画決定の内容や利用実態等を調査し、調査結果の分析を行った上で、駅前広場の見直し検証指針（案）を作成する。

I 調査概要

1 調査名：埼玉県総合都市交通体系調査（都市計画道路）

2 報告書目次

（1）都市計画道路の決定権者状況図

（2）都市計画道路の決定権者状況調書

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

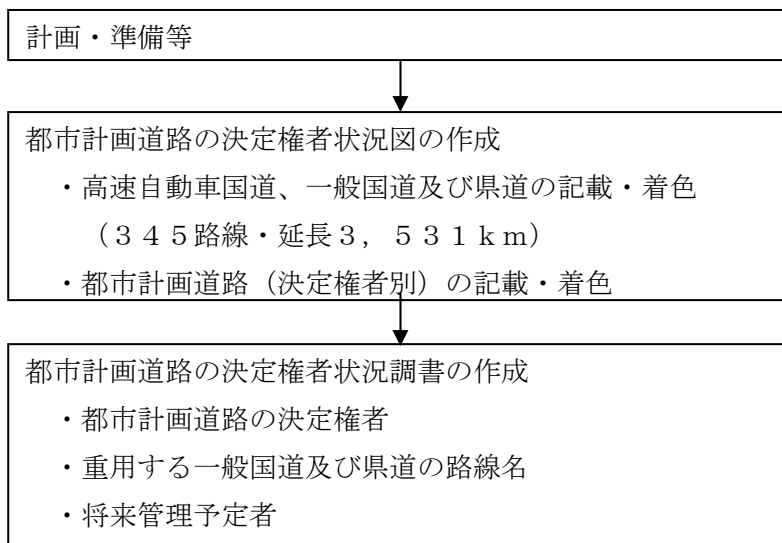
該当なし

II 調査成果

1 調査目的

埼玉県内（さいたま市を除く）において、人口減少等の社会情勢の変化に基づき都市計画道路の検証・見直しを進める中で、都市計画道路及び県道等の配置やネットワークの状況から生じる課題点を抽出し整理するために、都市計画道路、高速自動車国道、一般国道及び県道のネットワーク及び重用の状況、並びに地域主権一括法の施行を踏まえた都市計画決定権者の情報を、既存資料を調査した上で、データ整理を行い、状況図及び調書としてとりまとめることを目的とする。

2 調査フロー

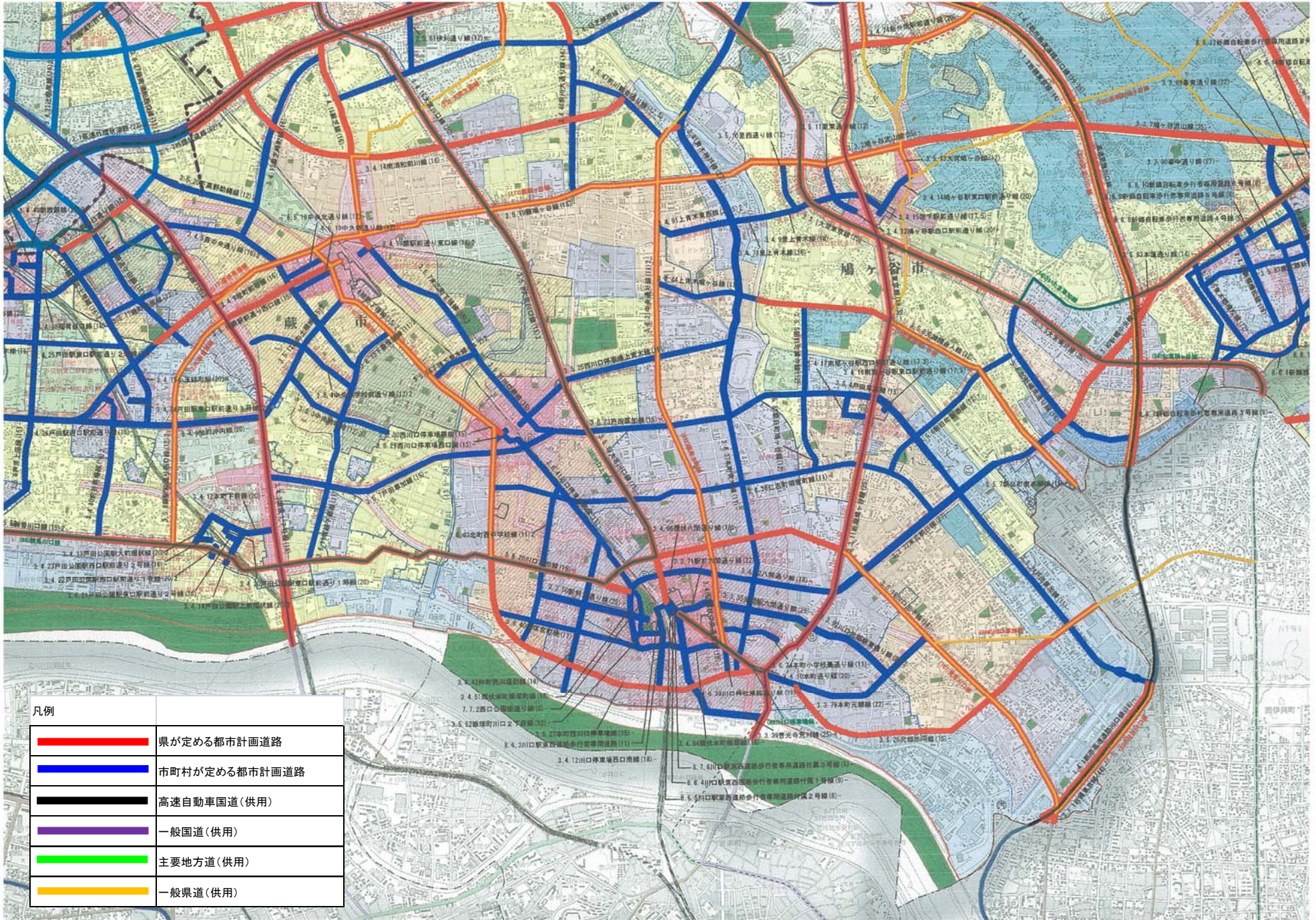


(様式－ 3 b 調査成果)






4 調査成果

(次ページ以降参照)

都市計画道路（平成24年3月31日）										川口都市計画道路																
NO	番号		路線名	起点位置		終点位置		延長 (m)	幅員 (m)	車線数	当初決定		最終決定		摘要	都市計画道路の整備状況	駅前広場の有無	駅前広場の整備状況	決定 権者	重複国県道						
				市町村名	番地	市町村名	番地				告示番号	告示年月日	告示番号	告示年月日												
1	1・	4・	1	都市高速道路川口線	東京都	足立区鹿浜2丁目	東京都	足立区加賀血沼町	1,500	18		埼玉県	1044	S	45.9.8	埼玉県	1019	S	48.7.13		完			県	242高速葛飾川口線	全部
2	1・	4・	2	都市高速道路川口線	川口市	大字江戸袋字下溜	川口市	大字西新井宿字北田	5,400	19.25		埼玉県	1044	S	45.9.8	埼玉県	42	S	56.1.9		完			県	242高速葛飾川口線	全部
3	1・	3・	3	高速外環状道路	川口市	芝富士2丁目	川口市	安行吉蔵字中道東	9,040	23		埼玉県	1475	S	60.10.1					完				県	東京外環自動車道	全部
4	3・	1・	1	岩槻東京線	東京都	足立区鹿浜2丁目	東京都	足立区加賀血沼町	1,500	44		埼玉県	1044	S	45.9.8	埼玉県	1019	S	48.7.13		完			県	239足立川口線	全部
5	3・	1・	2	岩槻東京線	川口市	大字江戸袋字下溜	川口市	大字西新井宿字北田	5,400	44		建設省	2486	S	44.5.20	埼玉県	1019	S	48.7.13		完			県	239足立川口線	全部
6	3・	1・	3	外環状道路	川口市	芝富士2丁目	川口市	安行吉蔵字中道東	9,040	62		建設省	3254	S	43.10.30	埼玉県	1475	S	60.10.1		完			県	一般国道298号	全部
7	3・	3・	4	大宮東京線	川口市	柳崎1丁目	川口市	大字根岸字内谷田	2,780	25		建設省	1387	S	43.5.10	埼玉県	1350	H	6.9.26		完			県	1さいたま川口線 34さいたま草加線	全部
8	3・	3・	5	大宮東京線	川口市	大字赤井字谷下	草加市	大字遊馬字中沼	2,590	25		建設省	2491	S	44.5.20	埼玉県	1699	S	54.11.20		完			県	34さいたま草加線 58台東端ヶ谷線	全部
9	3・	3・	6	東川口駅南通り線	川口市	戸塚2丁目	川口市	戸塚3丁目	940	25		建設省	1387	S	43.5.10	埼玉県	85	H	1.1.27		完	有	完了	市		
10	3・	3・	7	鳩ヶ谷流山線	川口市	大字安行慈林字堂下	川口市	大字峯字前	3,250	25		建設省	2491	S	44.5.20	埼玉県	630	H	8.4.5		完			県	34さいたま草加線 103吉場安行東京線	
11	3・	3・	8	南浦和越谷線	川口市	大字小谷場字岡ノ下	川口市	大字藤兵衛新田字堤外大沼通り	8,760	22		建設省	2713	S	35.12.20	埼玉県	1244	H	7.9.19					市		
12	3・	3・	9	浦和東京線	川口市	大字新堀字榎戸	川口市	東川口4丁目	7,400	22		埼玉県	1019	S	48.7.13	埼玉県	630	H	8.4.5					県	103吉場安行東京線	
13	3・	4・	10	本町通り線	川口市	本町4丁目	川口市	本町2丁目	840	20		内務省	569	S	12.9.28	埼玉県	630	H	8.4.5		完			県	89川口停車場線	全部
14	3・	3・	11	岩淵鳩ヶ谷線	川口市	舟戸町	川口市	朝日3丁目	2,580	25		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	630	H	8.4.5		完			県	一般国道122号	全部
15	3・	4・	12	川口停車場西口南線	川口市	川口3丁目	川口市	川口2丁目	490	18		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	1624	S	60.10.29		完			市		
16	3・	4・	13	蕨芝峰町線	蕨市	蕨北町1丁目	川口市	大字芝字後町	1,630	16		建設省	1387	S	43.5.10	埼玉県	1019	S	48.7.13					市		
17	3・	4・	14	南浦和前川線	川口市	大字小谷場字岡の下	川口市	前川2丁目	4,180	16		建設省	518	S	39.3.16	埼玉県	292	S	54.2.27					県	235大間木蕨線	
18	3・	4・	15	蕨芝線	川口市	芝新町	川口市	芝西2丁目	1,690	16		建設省	518	S	39.3.16	埼玉県	1244	H	7.9.19					県	235大間木蕨線	
19	3・	4・	16	大宮川口線	川口市	芝中田2丁目	川口市	大字芝字上谷沼	2,980	20		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	392	H	1.3.31		完			県	35川口上尾線	全部
20	3・	5・	17	大宮川口線	川口市	栄町3丁目	川口市	並木4丁目	2,410	15		内務省	10	S	22.1.17	埼玉県	1711	H	3.12.19					県	35川口上尾線	全部
21	3・	5・	18	川口王子線	川口市	川口5丁目	川口市	東領家5丁目	4,870	15		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	630	H	8.4.5					県	35川口上尾線 107東京川口線	
22	3・	5・	19	蕨鳩ヶ谷線	蕨市	大字蕨字仁中歩	川口市	上青木町4丁目	3,550	15		内務省	569	S	12.9.28	埼玉県	1019	S	48.7.13		完			県	111蕨鳩ヶ谷線	全部
23	3・	5・	20	川口戸田線	川口市	川口4丁目	川口市	西川口6丁目	1,510	15		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	1624	S	60.10.29					県	35川口上尾線 68練馬川口線	
24	3・	6・	21	中央通り線	川口市	幸町1丁目	川口市	上青木6丁目	3,730	11	2	建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	430	H	11.3.23					県	332根岸本町線	
25	3・	4・	22	八間通り線	蕨市	幸町1丁目	川口市	末広1丁目	940	18		建設省	433	S	29.3.31	埼玉県	630	H	8.4.5					市		



凡例

	県が定める都市計画道路
	市町村が定める都市計画道路
	高速自動車国道(供用)
	一般国道(供用)
	主要地方道(供用)
	一般県道(供用)

I 調査概要

1 調査名：埼玉県総合都市交通体系調査（駅前広場）

2 報告書目次

（1）調査の概要

（2）駅前広場の都市計画決定内容等の調査

（3）駅や駅前広場周辺の利用実態等の調査

（4）駅前広場の課題及び見直しニーズ等の把握

（5）駅前広場の見直し検証指針（案）の作成

（6）見直しの方向性を代表する駅前広場の選出

（7）見直しの方向性を代表する駅前広場の面積等の検証

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

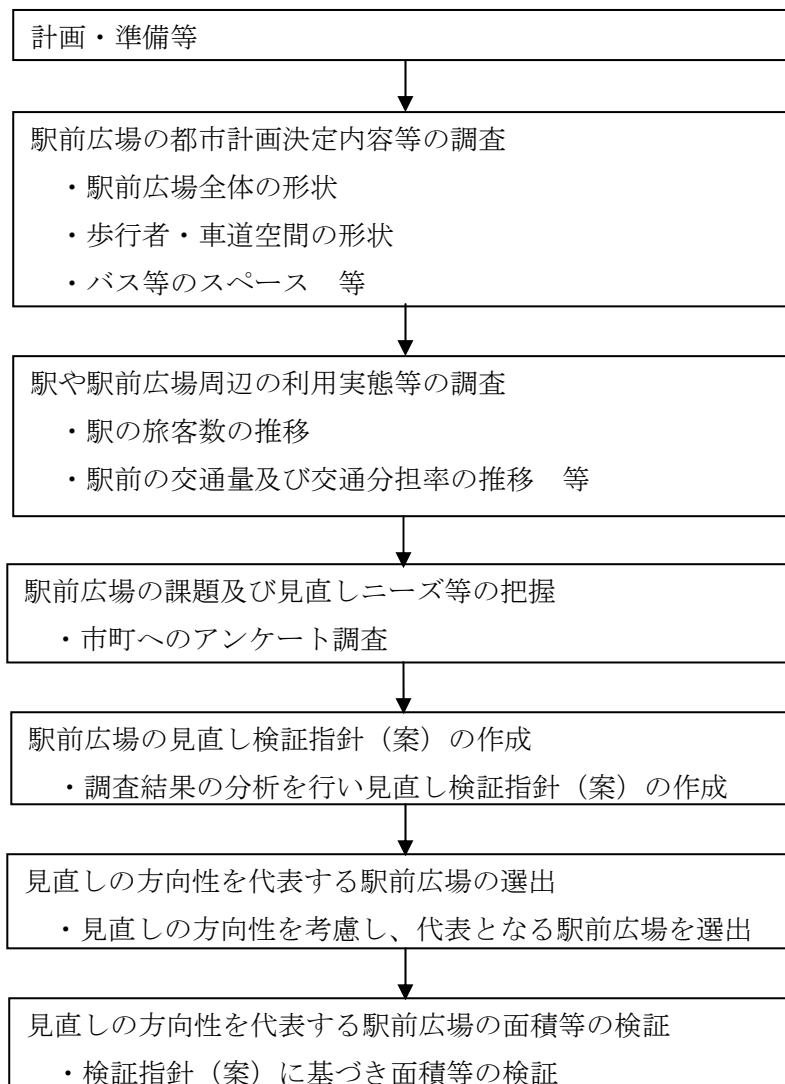
該当なし

II 調査成果

1 調査目的

埼玉県内（さいたま市内を除く）で都市計画決定している駅前広場について、都市計画決定の内容、駅や駅前広場周辺の利用実態、課題及び見直しニーズ等の調査を行う。さらに、調査内容を分析し、駅前広場の見直し検証指針（案）を提案するとともに、見直しの方向性（縮小、拡大、現状維持）ごとに複数の駅前広場を選び、先行的に面積や配置計画等の検証を行った上で、必要な修正を加え、今後の社会情勢に適応した駅前広場の見直し検証指針を構築することを目的とする。

2 調査フロー



(様式－ 3 b 調査成果)

4 調査成果

(次ページ以降参照)

「社会情勢の変化に対応した駅前広場」の方向性

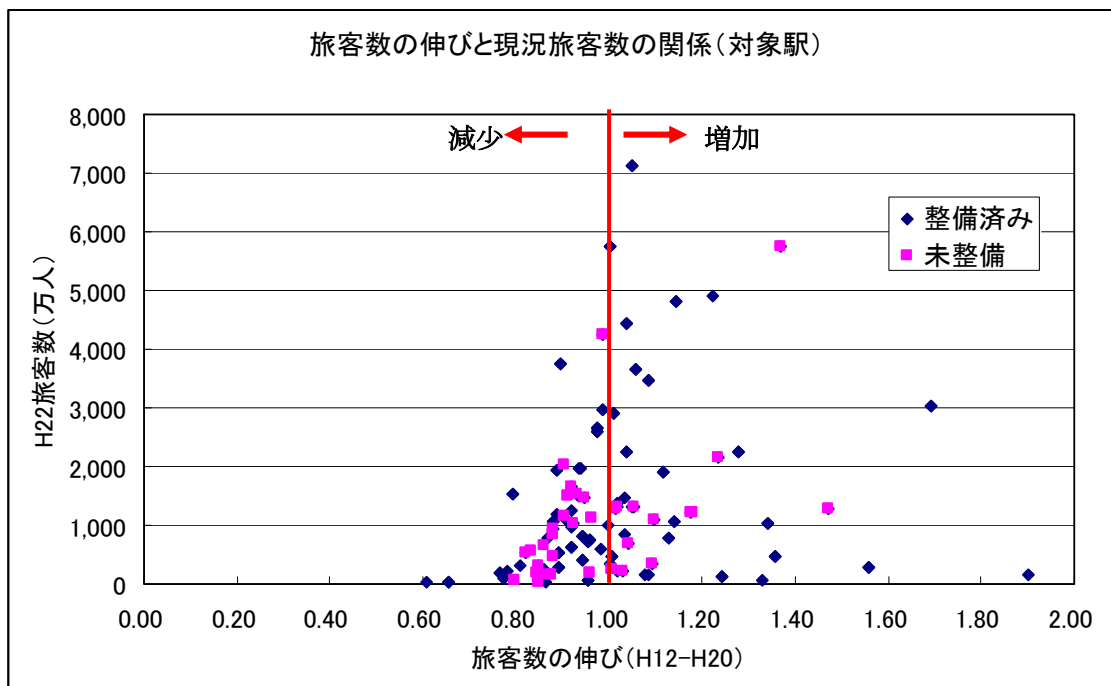
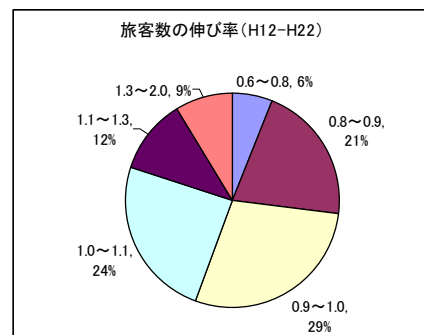
「社会情勢の変化に対応した駅前広場」の実現に向け、以下の視点を踏まえた見直し検証を実施する。

- ① 駅利用者数（旅客数）の変化への対応
- ② 移動特性の変化（ピーク率の平準化、総トリップ数の増加 等）への対応
- ③ 自動車に過度に依存しない移手法への対応（鉄道利用トリップの増加、徒歩、自転車による駅アクセスの増加、乗用車アクセス数の増減）

埼玉県内の駅前広場の実態や駅前広場を利用するトリップ、行政担当者の課題意識アンケートの結果から、埼玉県の駅前広場に関する利用環境の変化を分析し、これからの駅前広場に求められる視点を以下のように設定した。

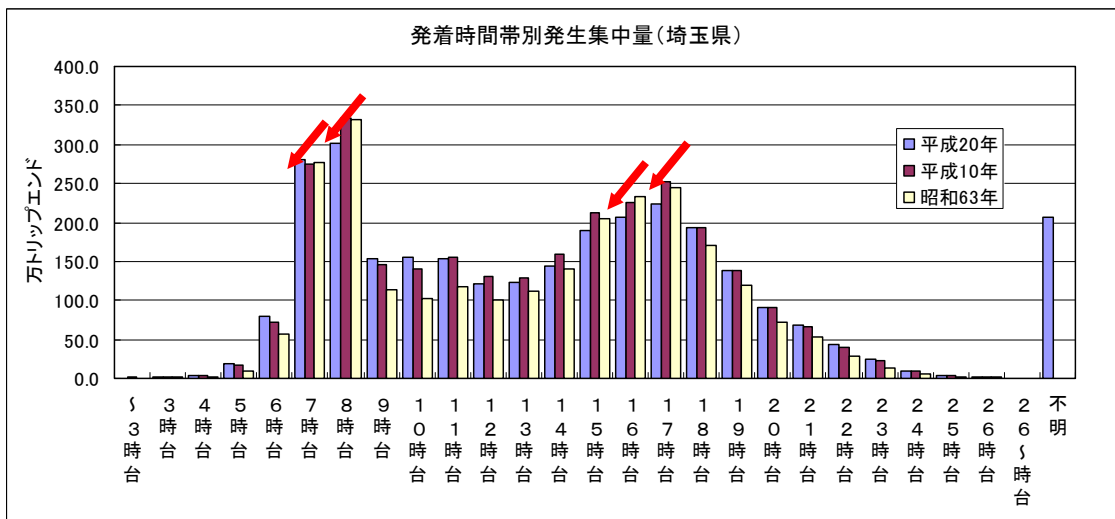
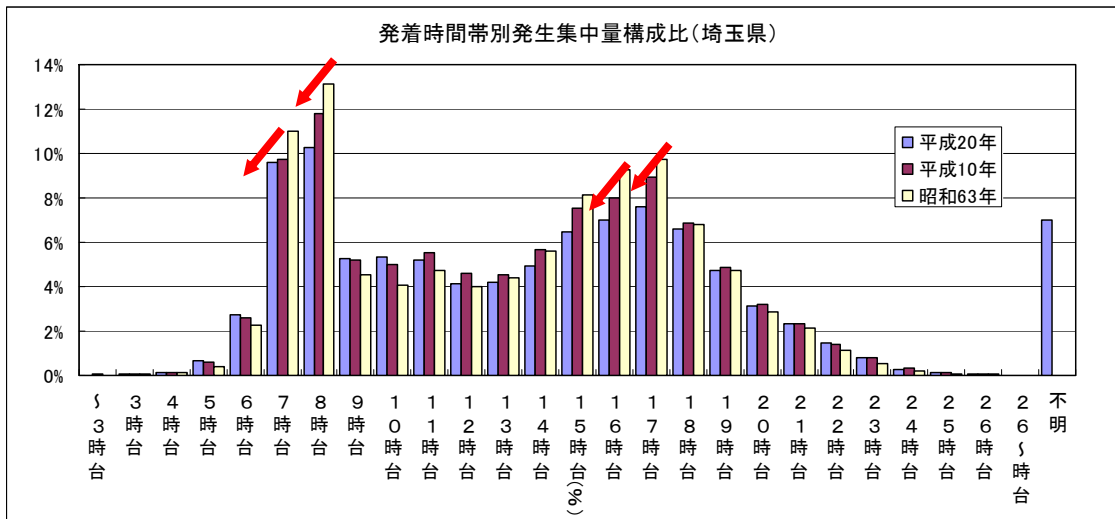
① 駅利用者数（旅客数）の変化

- ・過去 10 年間（平成 12 年～平成 22 年）の埼玉県内の駅前広場のある駅の駅別旅客数の伸びをみると、利用者全体が約 136,600 万人から約 136,600 万人に微減しているなかで、半数（56%）の駅で減少傾向にある。
- ・駅前広場は整備済みであるが、旅客数が増加している駅がある一方、未整備であって旅客数が減少している駅も多く存在している。



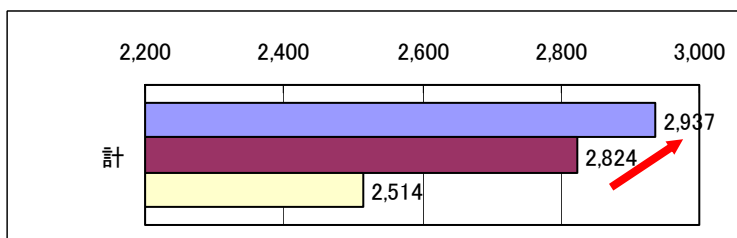
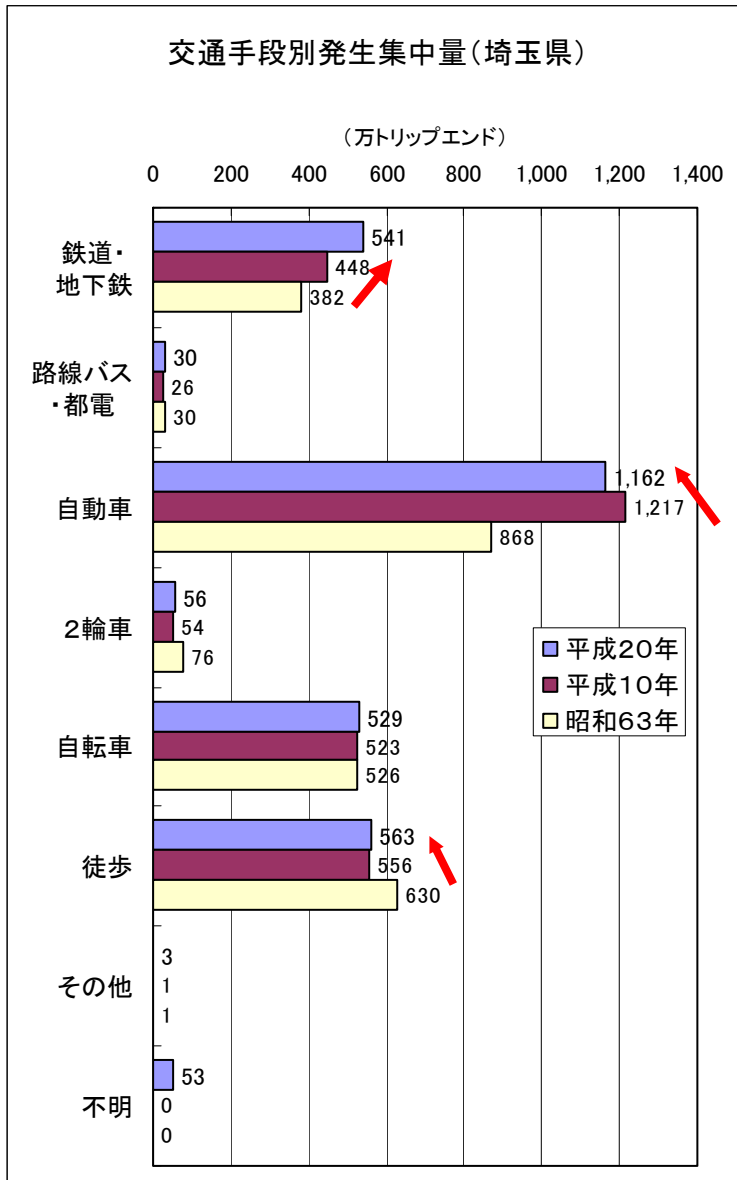
②-1 ピーク率の平準化(ピーク時発生集中量の減少)

- ・東京都市圏パーソントリップ調査結果より、埼玉県全体の発着時間帯別発生集中量の構成比を比較すると、ピーク時は朝7時～8時台、夕16時～17時台であることに変化はないが、そのピークの大きさは近年減少し、平準化していることが見て取れる。
- ・またピーク時の発生集中量の大きさ自体も減少傾向にあり、計画決定時に用いたピーク時交通量等と比較し、現況の交通量等が減少している可能性がある。



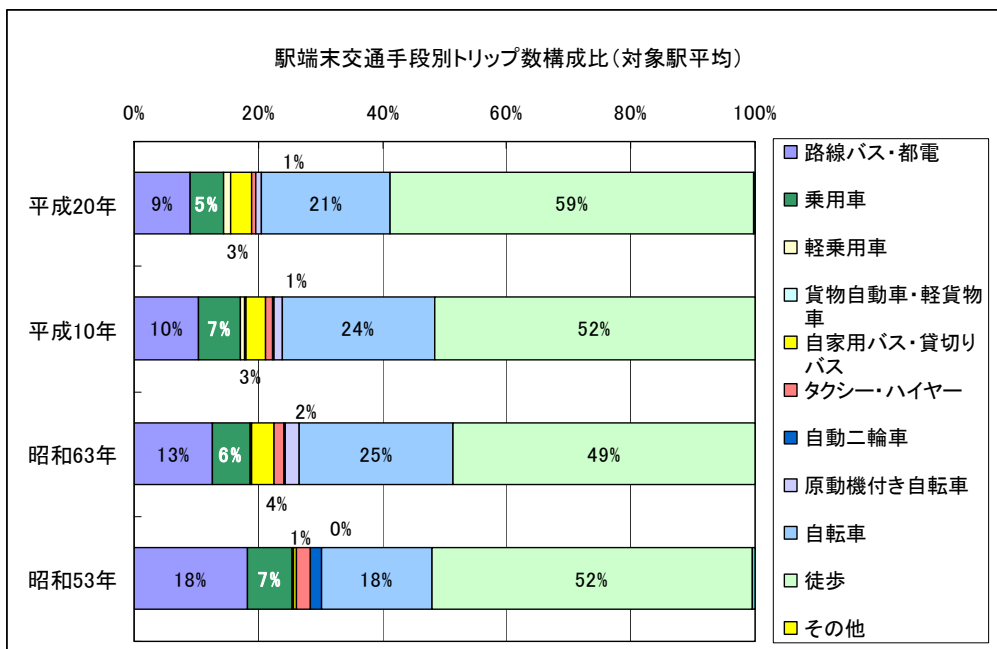
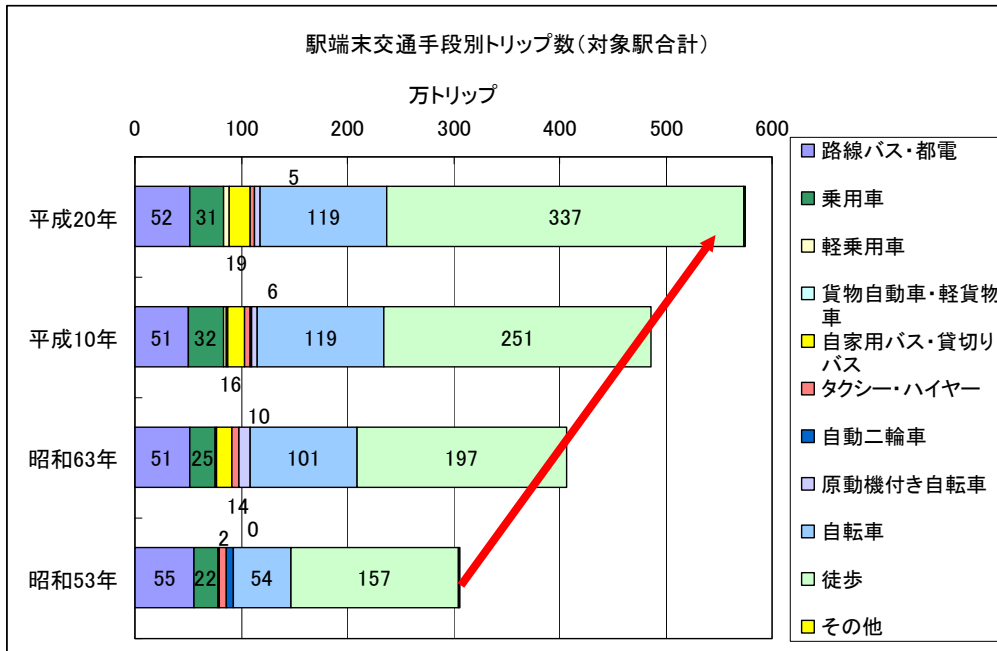
②-2 移動全体および鉄道利用による移動の増加

・東京都市圏パーソントリップ調査結果より、代表交通手段別発生集中量の推移をみると、埼玉県全体として、トリップ数自体が増加傾向(昭和63年→平成20年で約1.2倍)あるとともに、自動車、徒歩が減少する一方、鉄道・地下鉄による発生集中量が増加していることが見て取れる。



③-1 徒歩、自転車による駅アクセスの増加

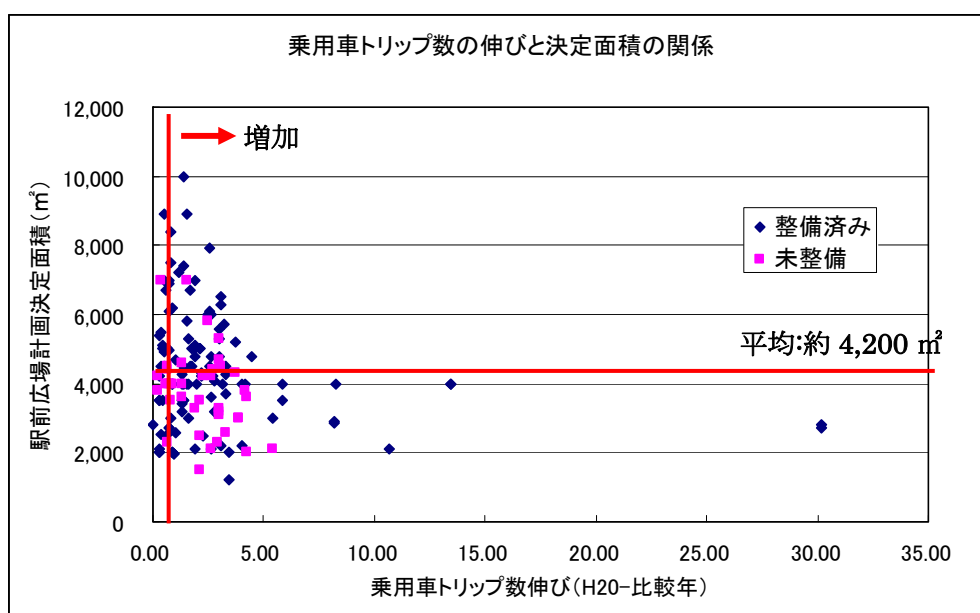
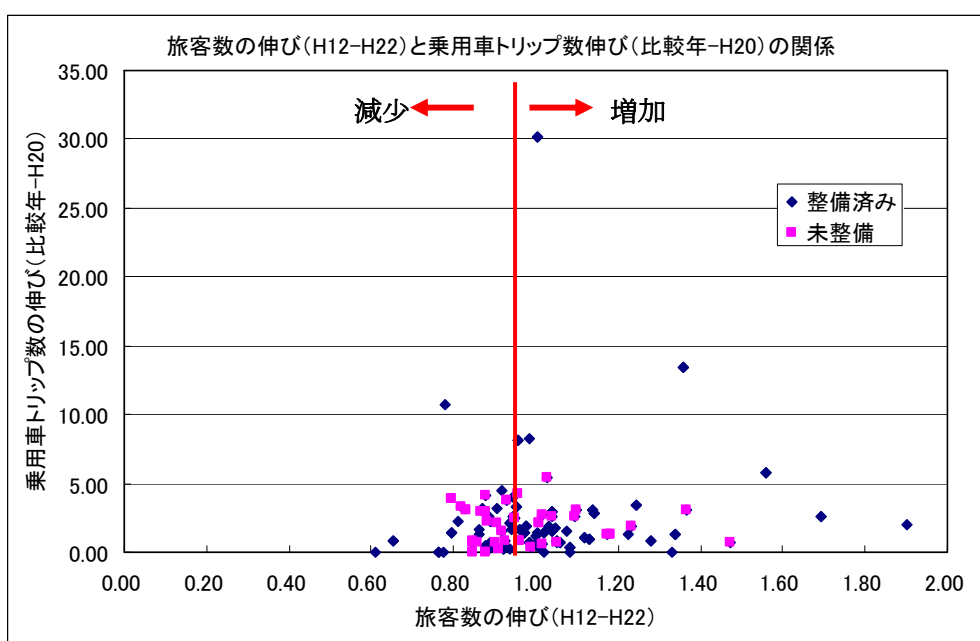
・東京都市圏パーソントリップ調査結果より、駅端末交通手段別トリップ数(対象駅合計)の推移をみると、路線バス、乗用車のトリップ数は横ばいであるのに対し、自転車、徒歩のトリップ数は大きく増加している。

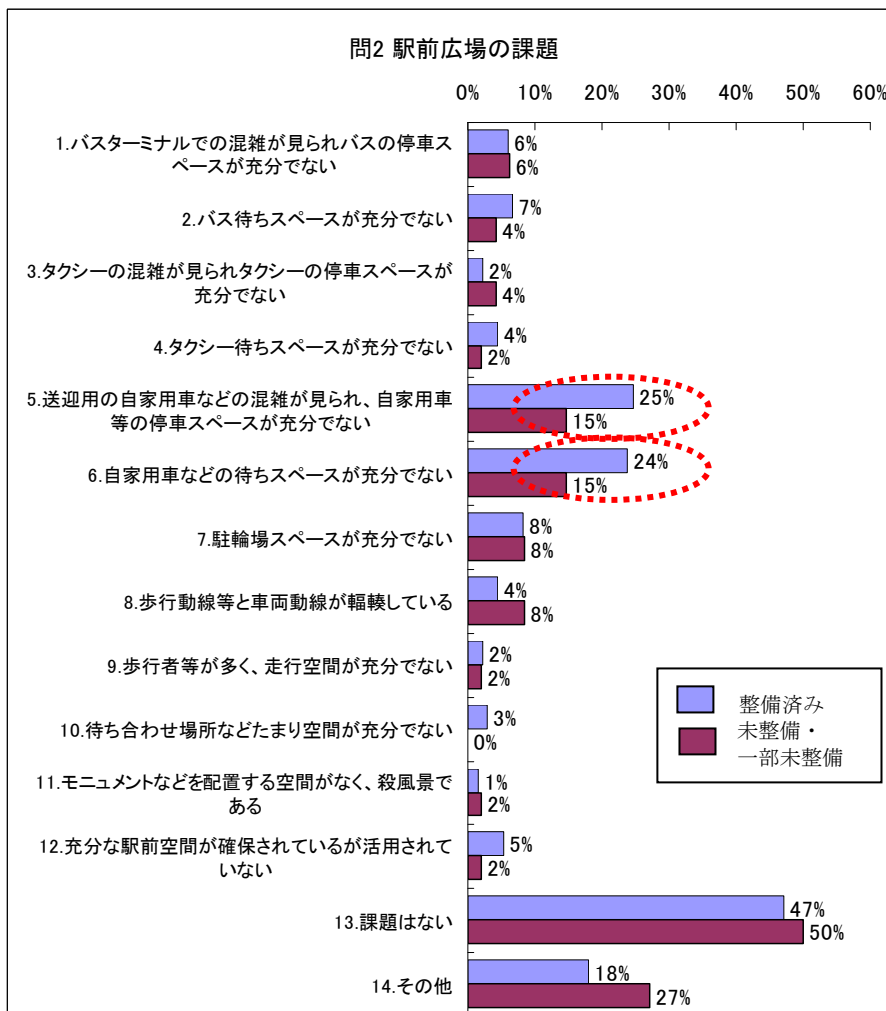
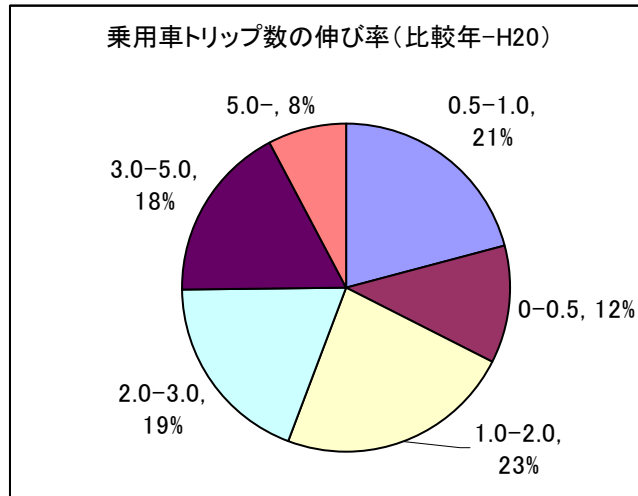


※駅ごとではなく対象駅合計の比較であり、調査回ごとの対象駅は新駅の開設状況によって異なることに留意する必要がある。

③-2 駅端末交通手段としての乗用車トリップ数

- ・東京都市圏パーソントリップ調査結果より、乗用車トリップ数の伸び率(第5回(H20)と計画決定時の直近の調査回)をみると、ほぼ半数の駅で増加傾向にあるが、半数では減少傾向にある。
- ・一方、アンケート調査では、駅前広場の課題として「送迎用自家用車の停車スペース等の不足」を挙げている駅がある。
- ・駅端末交通手段別トリップ数(③で図示)で県内のトリップ数全体は増加していないことから、全ての駅前広場において、乗用車への対応が必要となっている訳ではないと考えられ、乗用車への対応については、個別の駅前広場の状況(短時間無料駐車可能なK&R駐車場の有無)などに応じた対応を検討する必要がある。





④ 高齢者の外出機会の増加

・東京都市圏パーソントリップ調査結果より、年齢階層別トリップ数の推移をみると、60歳代以上の高齢者のトリップ数が増加している。高齢者数自体の増加に加え、高齢者のネット原単位（一人1日当たりのトリップ数）も増加していることから、高齢者の外出機会が増加していることが見て取れる。

